

Formula NIPPON NEWS 2010.11.13
JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON
FUJI SPRINT CUP 2010 第1レース [富士スピードウェイ]

FUJI SPRINT CUP・フォーミュラ・ニッポン 第1レース

ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM S) が独走優勝。

大嶋 (PETRONAS TEAM TOM S) が2位で TEAM TOM S1 - 2

昨日に引き続き、晩秋にしては温かな1日となった11月13日(土)、静岡県・富士スピードウェイで「JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010」のメインイベントのひとつ、フォーミュラ・ニッポンの第1レースが行なわれた。このレースでフロントロウからスタートし、独走で優勝を果たしたのは No.36 アンドレ・ロッテラー (PETRONAS TEAM TOM'S)。チームメイトの No.37 大嶋 和也 (PETRONAS TEAM TOM'S) が2位に入賞し、PETRONAS TEAM TOM'S はフォーミュラ・ニッポンで初となる1-2フィニッシュを達成した。これに続いたのは、No.10 塚越 広大 (HFDP RACING)。塚越は、今季第2戦以来の表彰台獲得となった。

オープニングセレモニーが終わり午後0時45分、フォーミュラ・ニッポンのフォーメーションラップがスタート。この時点では気温16、路面温度20と、この時期にしては比較的温かなコンディションとなった。1周の隊列走行を終え、全車が正規グリッドに着くと、シグナルオールレッドからブラックアウト。15台のマシンが一齐に、1コーナーに向けてアクセルを踏み込んだ。ここで抜群の動き出しを見せたのが予選2番手のロッテラー。そのロッテラー以上の動き出しで予選6番手のNo.16 井出 有治 (MOTUL TEAM 無限) が、1コーナーまでに2番手に浮上する。さらに、予選3番手の大嶋、予選4番手の塚越が順当に続き、予選8番手のNo.32 小暮 卓史 (NAKAJIMA RACING) が、5番手までポジションを上げてくる。一方、初のポールポジションを獲得したNo.7 ケイ・コッツォリーノ (Team LeMans) は大きく出遅れ、1コーナーまでに7番手までポジションを落とす。しかもダウンフォースを削ったセットアップで決勝にも臨んだため、その後も苦しい展開となった。

その後、序盤は随所でハプニングが発生。オープニングラップの300Rでは、後方からスタートすることになったNo.1 ロイック・デュバル (DOCOMO TEAM DANDELION RACING) がコースアウト。さらに2周目のダンロップコーナーでは、デュバルがNo.8 石浦 宏明 (Team LeMans) とNo.29 井口 卓人 (DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING) を巻き込みながらクラッシュ。右リヤタイヤにダメージを負い、そのままリタイヤすることになった。今年、ドライバーズタイトルを獲得したNo.19 J.P・デ・オリベイラ (Mobil 1 TEAM IMPUL) も、序盤にNo.18 平中 克幸 (KCMG) と接触。フロントウイングにダメージを負い、その後は全くペースが上がらなかった。

上位の争いでは、2周目の1コーナーで大嶋が井出をオーバーテイクし2番手に浮上。TEAM TOM'Sの1-2体制を築く。3周目の1コーナーでは塚越も井出をとらえ、3番手に浮上した。その間トップのロッテラーは、ただ一人1分26秒台のタイムを連発しながら後続を引き離す。レースの折り返しとなる11周を終えたところでは、早くも5秒以上のセーフティマージンを稼いでいた。また大嶋と塚越の差も次第に開き、大嶋も単独走行となる。トップ2台は、そのまま危なげなく走り切り1-2フィニッシュを果たした。その後方ではレース後半、井出が塚越に迫る。なかなかペースを上げられない塚越は防戦一方となったが、何とか最後までポジションを守って3位入賞。井出が今季自己最高位となる4位に入った。以下、終盤小暮とのホイール・トゥ・ホイールの激しいバトルを見せ、オーバーテイクに成功したNo.20 平手 晃平 (Mobil 1 TEAM IMPUL) が5位、小暮が6位。以下、No.2 伊沢 拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING) スタートでポジションを落としたものの、その後目の醒めるようなオーバーテイクを見せたNo.31 山本 尚貴 (NAKAJIMA RACING) コッツォリーノ、No.3 松田 次生 (KONDO RACING) までがポイントを獲得している。

Formula NIPPON NEWS 2010.11.13

JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON

FUJI SPRINT CUP 2010 第1レース [富士スピードウェイ]

第1レース優勝ドライバー&監督のコメント

明日もとにかく、いいスタートを切りたい

第1レース優勝：アンドレ・ロテラー (PETRONAS TEAM TOM'S)

レースに関しては極めてシンプルだよ。キーポイントは、スタートした時にポールポジションのケイを抜くことだけだった。そこで上手く抜いてからは、とにかく安定して速いラップを刻むことだけを心掛けた。その後は、もう誰も追いかけて来ないってことに気づいたし、明日に向けてどうやったらさらにクルマを進歩させられるかっていうことを学びながら走っていたって感じだね。(レスダウンフォース仕様でリヤが少しルーズだったから。でも、ひとりで走っているわけだから、集中して走ることが出来たし、すべてをコントロールすることが出来たと思う。明日はポールポジションからのスタートだし、そのおかげで、もちろん少しは展開がラクになるよね。でも、それでもドライバーとしての仕事はちゃんとするつもりだよ。チームはいつもいいクルマを作ってくれるし、きっと上手く行くとは思っているんだけど、とにかくいいスタートを切りたい。1 コーナーまでに誰か後方から来た人に抜かれてしまったら、展開が変わってしまうからね。僕はすごくスタートに自信を持っているけど、ちゃんと仕事しなくちゃ。まずはそこでトップに立てることを期待しているよ。

1-2 フィニッシュというのは本当に、監督冥利に尽きる

第1レース優勝チーム監督：館信秀 (PETRONAS TEAM TOM'S)

予選2位と3位だったので、レースの結果はもちろん1-2 フィニッシュにしてくれればいいなという期待を持っていました。アンドレは本当にスタートが上手で、いつも必ず予選よりポジションを上げて帰ってきてくれるのが当たり前になっています。そして今日もロケットスタートを決めて1位で帰ってきてくれることを期待していましたところ、やはり1位で帰ってきた、と。大嶋もすぐに2位に上がってくれて。監督としては本当に、1-2 フィニッシュというのは、冥利に尽きる結果だと思っています。いつ1-2を獲ったか、前のことは憶えていません。今年は大嶋が優勝した時にアンドレが3位で、1-3というのが最近では一番いい結果だったんですけど、今日は1-2 フィニッシュなので非常に気持ちが良かったです。明日は、アンドレにはもちろん優勝を期待していますし、大嶋くんがどこまで追い上げてきてくれるかを楽しみにしています。

Formula NIPPON NEWS 2010.11.13
 JAF Grand Prix SUPER GT & Formula NIPPON
 FUJI SPRINT CUP 2010 第1レース [富士スピードウェイ]

FUJI SPRINT CUP 第1レース 公式順位結果

富士スピードウェイ (レーシングコース 全長 4,563km)

天候：晴れ コース：ドライ 開始時 気温/路面温度： 16 /20
 開始/終了時間： 12:48 ~ 13:20

Po	No	Name	Team	Time	Delay	Best Time
1	36	アンドレ・ロッター	PETRONAS TEAM TOM S	31'48.539		1'26.402
2	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM S	31'58.130	9.591	1'26.791
3	10	塚越 広大	HFDP RACING	32'02.170	13.631	1'26.901
4	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	32'02.946	14.407	1'26.840
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	32'05.913	17.374	1'26.497
6	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	32'07.966	19.427	1'26.830
7	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	32'11.676	23.137	1'26.870
8	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	32'17.985	29.446	1'26.594
9	7	ケイ・コッツォリーノ	Team LeMans	32'27.351	38.812	1'27.258
10	19	J.P. デ・オリベイラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	32'28.495	39.956	1'27.112
11	3	松田 次生	KONDO RACING	32'30.299	41.760	1'27.771
12	18	平中 克幸	KCMG	32'31.105	42.566	1'27.463
13	8	石浦 宏明	Team LeMans	32'35.169	46.630	1'27.687
14	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO・INGING	32'53.207	2Laps	1'26.457
-	1	ロイック・デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1'35.124	21Laps	-

FASTEST LAP: 1'26.402 (4/22) 190.121km/h 36 アンドレ・ロッター (PETORONAS TEAM TOMS)

規定周回数 19Laps

【この件に関するお問い合わせ】
 株式会社日本レースプロモーション
 広報担当 石原
 media@f-nippon.co.jp